市議会だより
はまだ

Vol.44
平成29年(2017年)2月1日発行

浜田港　初水揚げ

浜田独特の「懐（ふところ）競り」

12月定例会　主な記事

可決事業 …… 2
市政を問う（個人一般質問） …… 8
地域井戸端会の意見から …… 15

発行：浜田市議会　編集：議会広報広聴委員会　〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地 TEL(0855)25-9800　FAX(0855)22-6765

平成28年12月定例会は

景観のまちづくり 空き家対策を推進する条例を制定

～元谷団地関連4億4000万円など補正予算も決定～

浜田市景観条例では、景観を生かしたまちづくりを進めるため、市・市民・事業者などの責務を明らかにし、地域の個性を活かした良好な景観を守り継承するために先導的な景観形成を進める重点地区として、浜田漁港地区・浜田城山周辺地区・美又温泉地区を指定しました。

浜田市空家等対策の推進に関する条例では、空き家などの適切な管理と活用を促進するため、市・空き家所有者・市民・事業者などの責務を定め、市長は空き家等の危険な状態を解消するため必要な支援を行うとしています。

新規・介護施設整備支援事業

高齢者施設等の防犯対策を強化する事業者に対し、防犯設備の整備に要する経費の助成を行う。（国補正予算）

【内　容】
防犯カメラ・人感センサー等の設置

予定事業所数：12事業所

○　補正額：348万円

新規・中山間地域所得向上支援対策事業

元谷団地の基盤整備を行うことで、企業参入型農業をはじめ、施設や露地による有機栽培農家の参入を図る。

【事業費】

○国費	55%	24,200万円
○県費	30%	13,200万円
○市費	15%（新規）	6,600万円
合　計		44,000万円

所在地：金城町今福元谷地区

新規・中山間地域等担い手収益力向上支援事業

国の補助金を活用し、農地中間管理事業で農地を借り受けた農業者に対し、収益力向上のための支援を行う。

【内　容】
農地中間管理事業から借り受けた
農地10ａ当たり50,000円を交付する。

○　補正額：313万円

新規・林地崩壊防止事業

平成28年９月に発生した原井町地内の林地崩壊は、再被災が懸念されることから、対策工事を実施し、民生の安定を図る。

【事業費】

○木工事費	600万円
○測量設計費	60万円
○事務費	18万円
合　計	678万円

指定管理の選定は点数化した答申書から

総務文教委員会

総務文教委員会に付託された同意案件3件、議案19件、請願4件について審査を行いました。

このうち、**「浜田市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例」**は、今の時期に至った経緯について質疑があり、7月の参議院選挙の公職選挙法改正後の事務処理が間に合わず、来年の市長及び議員選挙から実施するため、今回挙げたとの答弁がありました。

「指定管理者の指定について（浜田市栄町駐車場）」は、原則公募であるが、指名となった理由と受託後の対応について質疑があり、指名の場合強い理由がある。モニタリングレポートを公表し周知を図るなどの対応から改善に努めているとの答弁がありました。

また**「指定管理者の指定について（浜田市道分山立体駐車場）」**は、選定理由と評価について質疑があり、4社の応募で提案書やヒアリングの結果を点数化した答申書から選定をした。また2位以下は、積み上げ項目で点数の差がついたとの答弁がありました。

また**「指定管理者の指定について（サンビレッジ浜田）」**は、専門知識や特殊施設の認識及び指導監督について質疑があり、審査の結果、支障がない管理会社を決定した。専門的な方の雇用や引き継ぎも考慮して利用しやすい施設にしていきたいとの答弁がありました。

採決の結果、それぞれ全会一致で原案のとおり、可決すべきものと決しました。

請願4件については、審査の結果、全会一致で不採択すべきものと決しました。

サンビレッジ浜田

きびしい質疑があった指定管理者選定

福祉環境委員会

福祉環境委員会に付託された議案9件、請願1件について審査を行いました。

「浜田市あさひふれあいプラザ条例を廃止する条例について」及び**「浜田市地域活動支援センター条例の一部を改正する等の条例について」**は、2名の委員からの質疑があり、「浜田市公共施設再配置実施計画」に沿った提案であり、当該施設の現状を踏まえた上で、既存及びそれに代わる指定管理者に無償譲渡するとの答弁がありました。

「指定管理者の指定について（総合福祉センター・三隅老人福祉センターみすみ荘・金城高齢者生活福祉センター・三隅デイサービスセンター・あさひやすらぎの家）」は、浜田市社会福祉協議会及び旭福祉会への指名による選定がされており、4名の委員から選定方法、選定理由、指定期間、指定管理料など厳しい質疑が相次ぎました。答弁では、指定管理候補者は地域福祉の推進を図る公益性の高い地域密着型の団体であり、施設運営を目的に設置されたものであるが、来年度から介護保険制度が大きく変わり、社会福祉協議会の立ち位置も変わると認識している。次回は指定管理料も含め公募についても検討するとの、答弁がありました。**「財産の無償譲渡について（浜田市みすみ地域活動支援センターきずな）」**には、譲渡した後の解体費用に市の負担はないとの答弁がありました。

「保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願について」は、この政策も重要な子育て支援の一つであるとの賛成意見や、現在の女性社会進出に関連し、いったん仕事を辞めての再就職が大変である。保育士不足の解消はあくまでも待遇の問題であるとの反対意見がありました。

さらに、他市の状況も踏まえ、継続審査にすべきではとの意見が出されました。

審査の結果3議案が全会一致、5議案が賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決しました。請願については、賛成多数で採択すべきものと決しました。

条例制定で空家対策の促進を

産業建設委員会

産業建設委員会に付託された議案20件について審査を行いました。

「浜田市景観条例の制定について」は、浜田市の条例にすることで、県条例より広く網羅できるのかとの質疑があり、重点地区以外は県条例とほぼ同じであるが、浜田にあった固有の景観を守っていくという意味あいがあるとの答弁がありました。また、重点地区というのはどう決めるのかとの質疑があり、景観計画策定審査会で決定しているとの答弁がありました。

「浜田市空家等対策の推進に関する条例の制定について」は、緊急安全措置を講じようとするときは、所有者等に通知するとあるが、協議会を作って意見集約したものを文書で通知するのか、市独自でするのかとの質疑があり、緊急時の最低限措置と考えており、市の組織で検討して通知する考えであるとの答弁がありました。また、現状と変わらないなら何のための条例かと思う。所有者の問題で何もできないというなら意味がないとの質疑があり、登記の都合で権利者にたどりつけないことも多々ある。自らの責任というのが大原則だと思っているとの答弁がありました。

「指定管理者の指定について（浜田市集団移転住宅及び浜田市若者住宅）」は、株式会社コムサが今委員会でも5つの指定管理者として手を挙げている。

ここ数年の議員である代表取締役の行動を見ていると、いろんなところで自分が指定管理者として手を挙げている。議員が指定管理者に応募するのは好ましくないので、この議案については反対をしたいと意見がありました。

議案20件についてはいずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

今にも崩れそう…市内の散在する危険空き家

一般会計補正予算ほか、計8件を審査

予算決算委員会

予算決算委員会に付託された8議案、一般会計補正予算2件と特別会計6件について審査を行いました。延べ17名の委員から質疑があり、民生費の**障がい児通所給付事業**については、補正で上がっているのは事業所や利用人数が増えているかないかなどを問う質疑がありました。執行部からは事業所が市内も含め6カ所なのと障がいの程度も違い、過大な予算要求ができないので補正になるとの答弁がありました。

保育所業務効率化推進事業では事業の内容や実施状況を問う質疑があり、執行部から保育士不足の解消と事務の効率化が必要で28園中24園が実施するとの答弁がありました。

衛生費の**児童医療費助成事業**では、増額理由を問う質疑があり、執行部からインフルエンザの流行がずれて今年度になったのと、予想より入院等が増えたためと答弁がありました。

商工費の**浜田市商業活性化支援事業**については、各補助金の事業内容や旭自治区のまんてんの移動販売もこの支援事業なのか、との質疑があり、執行部からは、店舗改装や備品、家賃補助、移動販売車の購入で、旭のまんてんの移動販売事業については車両は旭の基金を使用し、現在は安否確認など、福祉と連携した事業との答弁がありました。

その他、教育費の**学校施設非構造部材耐震化事業**では事業期間や費用について、また**小学校施設大規模改造事業**では、トイレの洋式化の今後の計画や基準等について質疑がありました。

採決の結果、すべての議案について原案のとおり、可決すべきものと決しました。

採決の様子

～議会改革調査検討特別委員会　中間報告～

本特別委員会は、浜田市議会の議会改革に関する事項について調査及び検討を行っています。
これまでに協議、検討してきたものを報告します。

①議員定数
次期改選を見据え、定数について調査検討を行いました。
・24人　執行部へのチェック機能と議会の提案機能を向上させる。
・22人　人口が減少する状況では定数の削減も必要。
・その他　定数は増やすべき。
◎次期改選時の定数は24名とする。

②委員外議員の発言
・委員会で1人1項目とし、質疑は3回までとする。

③政務活動費
・使途基準を整理、現実に即した交付マニュアルを作成した。

④個人一般質問
・議会審議の効率化、市民にわかりやすい会議の実践という意味から答弁を含めた質疑の時間を最長75分で終了とする。

⑤会派代表質問
・今後も継続して実施する。市民の皆さんにわかりやすい内容となるよう検討を続ける。

以上がこれまでの主な検討事項です。
今後も引き続き議会改革を推し進めていきます。

請願・陳情の審査結果及び結果　平成28年12月定例会審査分

区分	請願・陳情の内容	提　出　者	審査した経過と結果
請願	雲雀丘小学校「落石注意」通学路安全確保について	市山　多津子　様	総務文教委員会（不採択）
請願	金城町七条新開の通学路の整備に関する請願について	間野　大司　様 伊藤　久子　様	総務文教委員会（不採択）
請願	保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願について	間野　大司　様 大﨑　哲司　様 伊藤　久子　様	福祉環境委員会（採　択）
請願	危険な通学路の改善に関する請願について	間野　大司　様 伊藤　久子　様	総務文教委員会（不採択）
請願	神楽館・歴史館の建設中止に関する請願について	間野　大司　様 大﨑　哲司　様 伊藤　久子　様	総務文教委員会（不採択）

議案に対して議員が討論を行いました

議案名	反対者
議案第90号～議案第93号　指定管理者の指定について 議案第95号～議案第115号　指定管理者の指定について	森谷
議案第125号　平成28年度浜田市一般会計補正予算（第3号）	森谷
議案第102号　指定管理者の指定について	西村

（紙面の都合上、詳しい議案名は６～７ページをご覧ください）

議案等の賛否の公開（本会議）

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→会議日程・結果→賛否の公開

議案番号	議　案　名	賛成	反対
議案第112号	指定管理者の指定について（岡見漁業振興会館）　**反対：森谷**	22	1
議案第113号	指定管理者の指定について（浜田市地域交流プラザ）　**反対：森谷**	22	1
議案第114号	指定管理者の指定について（浜田市三隅特産品展示販売センター）**反対：森谷**	22	1
議案第115号	指定管理者の指定について（黒川改良住宅）　**反対：森谷**	22	1
議案第116号	指定管理者の指定について（浜田市一般市営住宅及び浜田市特定公共賃貸住宅（金城地区））	23	0
議案第117号	指定管理者の指定について（浜田市一般市営住宅及び浜田市特定公共賃貸住宅（旭地区））	23	0
議案第118号	指定管理者の指定について（浜田市営地域定住住宅及び弥栄若者定住化住宅）	23	0
議案第119号	指定管理者の指定について（浜田市集団移転住宅及び浜田市若者住宅）　**除斥：森谷**　**反対：岡野、牛尾昭**	20	2
議案第120号	財産の無償譲渡について（浜田市あさひふれあいプラザ）	23	0
議案第121号	財産の無償譲渡について（浜田市みすみ地域活動支援センターきずな）	23	0
議案第122号	市道路線の廃止について（美川北5号線外）	23	0
議案第123号	市道路線の認定について（美川北5号線外）	23	0
議案第124号	美又辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	23	0
議案第125号	平成28年度浜田市一般会計補正予算（第3号）　**反対：森谷**	22	1
議案第126号	平成28年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	23	0
議案第127号	平成28年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	23	0
議案第128号	平成28年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第129号	平成28年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第130号	平成28年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第131号	平成28年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	23	0
議案第132号	浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第133号	浜田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第134号	平成28年度浜田市一般会計補正予算（第4号）	23	0
議案第135号	浜田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について	23	0
同意第８号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第９号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第10号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
発議第６号	浜田市議会委員会条例の一部を改正する条例について	23	0
請願第35号	雲雀丘小学校「落石注意」通学路安全確保について　**賛成：森谷、平石、澁谷、西村**	4	19
請願第36号	金城町七条新開の通学路の整備に関する請願について　**賛成：森谷、澁谷、西村**	3	20
請願第37号	保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願について　**賛成：足立、森谷、平石、澁谷、西村**	5	18
請願第38号	危険な通学路の改善に関する請願について　**賛成：森谷、澁谷、西村**	3	20
請願第39号	神楽館・歴史館の建設中止に関する請願について　**賛成：森谷、西村**	2	21

平成28年12月定例会

議案番号	議　案　名	賛成	反対
議案第78号	浜田市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例について	23	0
議案第79号	浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第80号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第81号	浜田市税条例等の一部を改正する条例について	23	0
議案第82号	浜田市あさひふれあいプラザ条例を廃止する条例について	23	0
議案第83号	浜田市地域活動支援センター条例の一部を改正する等の条例について	23	0
議案第84号	浜田市地域集会施設等条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第85号	浜田市工場立地法準則条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第86号	浜田市景観条例の制定について	23	0
議案第87号	浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第88号	浜田市空家等対策の推進に関する条例の制定について	23	0
議案第89号	弥栄村定住化推進に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第90号	指定管理者の指定について（浜田市栄町駐車場）　**反対：森谷**	22	1
議案第91号	指定管理者の指定について（浜田市駅前駐車場）　**反対：森谷**	22	1
議案第92号	指定管理者の指定について（浜田市道分山立体駐車場）　**反対：森谷**	22	1
議案第93号	指定管理者の指定について（浜田市東公園運動施設）　**反対：森谷**	22	1
議案第94号	指定管理者の指定について（サンマリン浜田）	23	0
議案第95号	指定管理者の指定について（サン・ビレッジ浜田）　**反対：森谷**	22	1
議案第96号	指定管理者の指定について（浜田市世界こども美術館創作活動館）**反対：森谷**	22	1
議案第97号	指定管理者の指定について（浜田市立石正美術館）　**反対：森谷**	22	1
議案第98号	指定管理者の指定について（石央文化ホール）　**反対：森谷**	22	1
議案第99号	指定管理者の指定について（浜田市浜田郷土資料館）　**反対：森谷**	22	1
議案第100号	指定管理者の指定について（浜田市金城資料館）　**反対：森谷**	22	1
議案第101号	指定管理者の指定について（浜田市総合福祉センター）**反対：岡野、森谷、澁谷**	20	3
議案第102号	指定管理者の指定について（浜田市三隅老人福祉センターみすみ荘）**反対：岡野、森谷、澁谷、西村**	19	4
議案第103号	指定管理者の指定について（浜田市金城高齢者生活福祉センター）**反対：岡野、森谷、澁谷**	20	3
議案第104号	指定管理者の指定について（浜田市三隅デイサービスセンター）**反対：岡野、森谷**	21	2
議案第105号	指定管理者の指定について（浜田市あさひやすらぎの家）　**反対：森谷**	22	1
議案第106号	指定管理者の指定について（浜田市三隅中央会館多目的研修集会施設）**反対：森谷**	22	1
議案第107号	指定管理者の指定について（森の公民館）　**反対：森谷**	22	1
議案第108号	指定管理者の指定について（浜田市ふるさと体験村施設）　**反対：森谷、田畑**	21	2
議案第109号	指定管理者の指定について（浜田市八戸川農村公園）　**反対：森谷**	22	1
議案第110号	指定管理者の指定について（浜田市地域材利用促進交流館）　**反対：森谷**	22	1
議案第111号	指定管理者の指定について（浜田市公設水産物仲買売場）　**反対：森谷**	22	1

市政を問う

21名が論戦（個人一般質問）

【一般質問とは】
各議員が住民の代表として、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。
限られた字数で編集しています。詳しい内容については議会HPでもご覧いただけます。

クーラーをなぜ教室に設置しないのか

澁谷幹雄

質問 日本の今の異常気象では、小中学校の教室へのクーラー設置はぜいたく品ではない。教育委員で手分けして6月から9月までの一週間ほど学校に詰めて、鉄筋コンクリートの校舎がどんなに暑く、児童生徒の集中力を阻害しているか、体験してはどうか。今の教育環境では、学力向上など、夢のまた夢だ。予算がないなら、中学校3年生からでも順次導入すべきだ。

教育長 段階的導入など、提案事項を検討する。

質問 市民の安心安全の生活のために、側溝整備と外灯整備にもっと予算をつけるべきでは。

建設部長 予算確保に努め、整備する。

質問 市民の元気で長生きのため、温泉施設の活性化のため、税金を投入して割引券を発行し、温泉施設の利用促進をはかるべきでは。

産業経済部長 温泉施設の経営が厳しいのは理解しているので、検討する。

質問 収入は増えないのに負担は増え、生活は苦しくなるばかりだという市民の悲鳴が寄せられている。一般会計から繰り入れ、国民健康保険料を値下げすべきだ。

市民生活部長 市民の生活の苦しさは承知している。現在検討中である。

要望があっても何年間も溝蓋が設置されない側溝

条例改正で空き家対策はどう改善されるか

野藤　薫

質問 平成24年10月「浜田市空き家等の適正管理に関する条例」が施行された。現状を問う。

都市建設部長 現在まで勧告や命令、罰則等の事例はないが、緊急措置は2件あった。

質問 空き家の把握や現状調査について問う。

都市建設部長 平成26年度に住宅地図会社に委託し調査の結果、空き家等の可能性の高い建物は2409棟あり、危険度ランク別（AからE）に区分している。

質問 空き家の流動化促進について問う。

地域政策部長 ホームページの空き家バンクに、登録希望者を募り掲載している。空き家利用希望者の見学等までは市で行い、双方の交渉や契約にはついては不動産業者が行っている。現在までの登録件数は131件で、成約物件が102件、その内Uターン者は50件である。

質問 地域商業に対する支援策について問う。

産業経済部長 BUY浜田運動は10月から開始し、現在35店が参加しているが、今後もPRに努める。後継者育成、空き店舗対策、マルシェ事業等も商工団体や商店街と連携しにぎわい創出へ支援検討する。

空き家バンク（浜田市HP）

メールでのいじめ相談ができる仕組みが必要

佐々木　豊治

質問　いじめ問題の対応策のひとつとして、子どもたちが慣れ親しんでいるメールで相談できる仕組みづくりが必要と思うがどうか。

教育部長　メールでの相談ができることは相談の手段が広がることであるので検討したい。

質問　いじめにより、相当の期間学校を欠席することを余儀なくされたなどの重大事例があったのか問う。

教育部長　いじめが認知されて対応している間に継続的に欠席が30日を超えた事例が平成27年度に中学校で1件あった。すでに解消されている。

質問　国土強靭化アクションプランには「路面下空洞調査の実施」が盛り込まれ、路面の空洞化や埋没対策が各自治体に求められている。当市での道路陥没などの状況や今後の対応を問う。

都市建設部長　浜田市においては地下埋設物の老朽化に起因する陥没は発生していないが、小規模な舗装の穴や段差などは平成27年度で555件あった。対応は道路パトロールによる目視点検の実施や、今後、超音波で地下空洞を発見するスケルカー導入も検討したい。

その他の質問

○被災者支援システム

道路陥没現場

いじめ根絶 不登校児童生徒を減らす学校教育

小川　稔宏

質問　いじめ認知件数と「重大事態」発生状況及び不登校（30日以上欠席）の現状と欠席理由を問う。

教育長・教育部長　表のとおりである。

▲いじめ認知件数（　）内は重大事態件数

年度	H23	H24	H25	H26	H27
中学校	6	10	39	19	55(1)
小学校	7	27	13	27	103
計	13	37	52	46	158

▲不登校の児童生徒数（　）内は90日以上の欠席者

年度	H23	H24	H25	H26	H27
中学校	40	35	34	39	48(31)
小学校	13	16	20	21	19(7)
計	53	51	54	60	67(38)

教育長　不登校の主な欠席理由は人間関係、不安感、意欲がわかない等、一人ひとりさまざまである。

質問　不登校児童生徒の相談や学習支援はどこで行われているかを問う。

教育長　67人のうち教育支援センター山びこ学級14人、教育センター12人、児童相談所5人、出雲の心の医療センターに16人。

質問　ふるさと郷育といじめ対策について問う。

市長　いじめがあれば住みたい、住んで良かった、帰りたいふるさとのまちにはならない。いじめのないまちに全市を挙げて真剣に取り組みたい。

市立中学校の教室

将来を見据えた里山、森林の魅力づくりを

上野　茂

質問　市内の人工林で手入れがされてない森林が半数以上ある。子どもたちの代につなげるため、魅力づくりが必要ではないか市の考えを問う。

産業経済部長　林業を取り巻く状況は非常に厳しい。魅力づくりは重要であり、機械化、コストの削減を徹底し、補助金に頼らない林業ビジネスの構築を進めていく。

質問　「緑の少年団」活動で全国表彰を受けた旭小学校や、全国の子どもたちの活動報告は感動した。先代から継ぎ、つなげるため、今後の森林整備の考えを問う。

産業経済部長　将来を見据えた持続可能な循環型林業を目指し、適切な森林管理を促し、健全な森林の整備・育成をする。

質問　新規就農者への助成と今までの実績を問う。

産業経済部長　「ふるさと農業研修生育成事業」を実施し、新規就農者の支援を行っている。今まで40名が受講され就農者16名、現在26名が浜田市に居住されている。

質問　自然環境を残すには、農林業につく人を育成することが大切と考えるが、市の考えを問う。

産業経済部長　若年層の林業事業体への就業は増加傾向にある、今後も人材育成に努める。

手入れされた森林

県外からの移住促進対策のさらなる強化を

道下文男

質問 先の国勢調査において、浜田市は県内の人口減少幅の大きな大田市、雲南市に続き5・8％減少の5万8105人であった。国は、来年度から人口減少対策に成果を上げた自治体に対し、交付金を手厚く配分する方針を示した。このことを踏まえ、人口減少対策への考えを問う。

地域政策部長 雇用を担当する部署との連携強化、就労体験から移住に結びつく施策も検討しながら人口減少対策に取り組む。

質問 働く場の確保が最重要課題であり、市内企業の繁栄が望まれるが、市内企業の人手不足は大変深刻な問題であり、今や企業存続にかかわる重要な課題となっている。この働ける人の掘り起こし対策について問う。

産業経済部参事 就労体験の訓練を行うなど、新規就労、就労定着に県と連携しながら取り組む。

質問 県は、小中学校へも「学校の魅力化」事業を拡大し、移住促進を図るとしているが、浜田市の考えを問う。

教育長 県の動向を十分に注視し、前向きに検討していきたい。

その他の質問

○住民と協働しての地域活性について

○学校教育充実について

期待される学校の魅力化事業

目指せ 幼保小中高の一貫キャリア教育

岡本正友

質問 今後10～20年で約47％の仕事が人工知能に変わり自動化される可能性が高いとされる。将来の就業環境から基礎学力と向学心や心身の健全を育む施策は重要である。課題の学力の実態を問う。

教育長 県教育委員会は小中の学力順位を公表していないが、データから県下8市の内6～7位と想定し、危惧している。

質問 家庭のスマホなど情報機器の扱いや、家学や宿題などの取組状況は。

教育長 家庭でのスマホなどさらなる指導が必要。また復習の重要性から家庭学習や宿題の時間が少ないことなど、学ぶ意欲・態度の醸成が必要である。

質問 学力の実態を隠すことなく、児童生徒保護者をはじめ地域も意識することが改革のはじまりである。目指す子ども像を明確にし「仕組みづくり」と「仕掛けづくり」を表し、産官学・家庭地域が一丸となって幼保小中高の一貫キャリア教育に取り組む必要がある。論議中の中高一貫教育校もあわせ所見を問う。

市長 基礎学力を含めキャリア教育は重要である。また、中高一貫教育校は子どもの可能性を広げるためにも、導入は大きな意義があると考える。

雲南市キャリア教育

「浜田港長期構想」で熱田海浜は残す考えか

江角敏和

質問 策定中である浜田港の「長期構想」及び「港湾計画」の位置付けと各計画期間について問う。

産業経済部参事 「浜田港長期構想」は、長期的視点に立った整備の主要施策を示すもので、平成30年度から60年度までの計画。「港湾計画」は、30年度から40年代前半までの中期的な計画を作成するものである。

質問 「長期構想案」では、福井地区へ接続する臨港道路の整備が示されているが、熱田海岸の砂浜は残す考えか問う。

産業経済部参事 新設する臨港道路の沖側へ既存の砂浜を人工的に復元することは可能で、「体験・環境学習の場として熱田海岸を整備してほしい」という意見もあり、「構想」に取り込まれたと伺っている。隣接する地元住民のご理解とご協力が重要である。

質問 クルーズ客船の対応について問う。

産業経済部参事 設立された「浜田港拠点化形成研究会」で誘致対策が進められる。市としても受入環境の整備に努めたい。

大切な熱田海岸
生徒たちによる海浜清掃

地籍調査事業の今後の見通しは

原田義則

質問 旭自治区以外における、自治区の地籍調査事業の進捗状況について問う。（旭自治区は完了）

都市建設部長 浜田自治区31・66％、金城自治区36・55％、弥栄自治区28・27％、三隅自治区9・01％となっている。

質問 現状のペースで取り組んだ場合、何年後に完了するのか問う。

都市建設部長 今後50年以上はかかるものと推測している。

質問 事業費はどの程度かかるのか問う。

都市建設部長 残りの面積を400㎢として計算すると、120億円程度は必要になると考えている。

質問 （仮称）浜田歴史神楽資料館整備事業を、今進める大義について問う。

地域政策部長 合併から10年経過し、また、平成31年に開府400年を迎えることを契機に、オール浜田での新たなまちづくりや、歴史文化の保存と継承、ふるさと郷育に力を入れることが重要で検討を進めている。

質問 どうしても開府400年に併せて整備されるのか問う。

地域政策部長 財政計画との整合性を図りながら、理解が得られたら、計画どおり取り組みたいと考えている。

急がれる地籍調査事業

中学生の社会活動も部活動と同等の評価を

笹田卓

質問 校外で頑張って活動している中学生の社会体育、社会活動も中学校の部活動と同等の評価をするべきだと考えるが教育委員会の認識は。

教育長 中学校の部活動に参加していない多くの生徒は、社会体育や社会活動などを通じて、自らの目標達成に向け頑張っており、それらの活動は、部活動と同様に好ましい人間関係の形成等に資する活動であると認識している。中学校では、生徒が不利とならないように適切に評価するように努めている。社会体育、社会活動と部活動がそれぞれの立場を尊重しながら、活動されるように支援をしていく。

質問 浜田市再任用制度の今後の見通しは。

総務部長 原則は、嘱託職員として再雇用で対応するが、資格や経験が特に必要と考えられる部署については、これまで培ってきた知識、経験を活かし、短時間での再任用も併用して活用していきたい。

中学生の社会体育、社会活動も同等の評価を

歴史文化行政の推進に体制づくりを急げ

芦谷英夫

質問 体調不良などから相談する職員の状況と対応について問う。

総務部長 一次予防としてストレスチェックを行い、体調不良をかかえる職員の相談に応じる体制として産業医、臨床心理士、衛生管理者などと連携し対応したい。

質問 歴史文化行政の推進、開府400年、市誌編纂、古文書の保存や公開、市民サービスなどの体制づくりを問う。

教育部長 29年度から5名体制で業務を推進し、浜田城周辺整備事業の方向性などを考慮し、必要な体制を検討したい。

質問 介護予防事業としてミニディサービス、高齢者サロンを支援する新しい制度、浜田モデルについて問う。

健康福祉部長 29年度、生活支援コーディネーターを7名に拡充し、新しく始まる公民館サロンの運営などに当たりたい。

質問 人口は減少の下げ止まり感がなくはないが、出生数は減少しており、人口増につながる新たな施策について問う。

地域政策部長 いろいろな取り組みの積み重ねが大切で、シングルペアレント事業はマスコミに取り上げられ情報発信につながった。社会増を目指し浜田のPRに努めたい。

浜田開府400年記念プレ講演・座談会

東京五輪で石見神楽を披露する働きかけを

布施賢司

質問 東京五輪・パラリンピックを絶好のチャンスと捉え、石見神楽の披露を関係機関への働きかけについて問う。

市長 県を通じて情報収集をしており、今後の状況を見ながら働きかける。

質問 多様なメリットを有する自転車を地域資源や食などとタイアップさせて、サイクリングを楽しむようなコースの仕掛け作りに取り組むべきだ。

産業経済部長 サイクリングに適した環境について検証を進め、整備することを検討する。

質問 バイクラックの設置、水や空気補充、休憩トイレなどのサービスをする「サイクルステーション」として、道の駅、コンビニエンスストアなどに、協力店要請していく考えがないか問う。

産業経済部長 設置や協力店について検討する。

質問 （仮称）浜田歴史神楽資料館の建設は、歴史文化の継承・保存やふるさと郷育は大切で、必要である。懸案の神楽の舞殿や多目的ホールの併設は、公共施設（世界こども美術館や旧警察署）などイノベーションとリノベーションの考えで検討することについて問う。

地域政策部長 関係者の意見や施設の在り方を検討する中で参考にする。

先進地「しまなみ海道」のサイクルステーション

どうする美又温泉とゆうひパーク三隅対策は

牛尾昭

質問 美又温泉活性化計画を受けての見解を問う。

市長 現在の保養センターのような誘客のための中核施設が必要で、改修をし、黒字化を目指して経営する事業者を探す。

質問 泉質日本一の温泉を残すには、二、三億円用意して、事業者募集すべきと思うが問う。

市長 そのような募集計画でないと、難しいと思うので、その折には、議会同意をお願いしたい。

質問 三隅道路開通後の影響と将来予測について市長の見解を問う。

市長 開通により、渋滞が緩和し、緊急時の代替えルートが確保され、市民の皆さんの利便性が増す。一方で交通量が減り、ゆうひパークに影響が出るので、来客増のための取り組みが必要だ。

質問 朝市や名物の発掘、道1グランプリへの参加、百円道の駅の実現などのインパクトがある政策が必要と思うが問う。

市長 さまざまな提案をいただいたので検討したい。

その他の質問

○ドライブイン日本海の支援について

○統合幼稚園について

ゆうひパーク三隅前を走る瑞風（みずかぜ）

若者の米離れ 学校教育の食文化の取り組みは

串﨑利行

質問 若者米離れ対策の一つとして、食文化を学校教育で伝える必要があるが、取り組みを問う。

教育長 和食推進の観点から、栄養教諭・学校栄養士で、郷土料理の献立を作成するとともに、各学校に出向き、食育の指導や講話等に取り組んでいく。

質問 中山間地の農業に元気を取り戻すためには、浜田市の大半を占める家族農業について重視することが大事だが、支える支援について問う。

産業経済部長 浜田市農業振興基金により、市単独のさまざまな支援事業を展開していく。

質問 草刈り報償費は、1㎞で1万円、自治会等が引き受けなければ、市は業者委託し、平均1㎞で27万円かかる。限界集落等で対応している地域には、特別枠での対応を検討すべきと感じるが、市の考えを問う。

都市建設部長 難しい課題である。

質問 財政的面からも、集落等で、できる限り地域を守ってもらうことが得策だが、考えを問う。

市長 大事なことであり、ふるさと寄附の財源等で、前向きに検討する。

その他の質問

○田園回帰について

○林業振興、広葉樹他

新ブランド米「秘境　奥島根　弥栄」

城山周辺整備事業は観光施設の整備なのか

足立　豪

質問　市は、浜田城周辺整備事業を計画しており、教育・観光・交流の拠点と位置付けようとしている。事業実施した場合、年間の観光者または利用者の計画を問う。

地域政策部長　（仮称）歴史神楽資料館を整備した場合は約1万6千人で、そのうち多目的ホールの利用者は約7千人と見込んでいる。

質問　現時点で予想される観光者や利用者、維持改修費用は重要な数字であり、5年、10年の中長期計画を作成してそれを市民にも公表し、市民・行政・議員が一緒になってその数字を議論すべきと考えるが、そのような考えがあるかどうか問う。

地域政策部長　県内の同様な施設を参考にしながら作成して公表する。

質問　「浜田城周辺整備事業」は、観光・教育・交流の拠点のどれが最優先される施設と考えているのか。

地域政策部長　次代を担う子どもたちへのふるさと郷育を最優先と考える。

質問　JT跡地売却による活用で、市が考えるにぎわいとは何か。

都市建設部長　多くの人が集うことにより、街の活性化につながることがにぎわいの創出と考える。

にぎわいが期待されるJT跡地

送迎なしミニデイへの移行、1年延期を

西村　健

質問　来年4月から要支援の訪問・通所介護が保険から外れ、新介護予防・日常生活支援総合事業に移行し、現行相当サービスのほか、身体介護を必要としない方には緩和型サービスを提供することとなるが、事業者の参入意向について問う。

健康福祉部長　現行相当サービスには全事業所が参入するが、緩和型については訪問で24事業所中14、通所で29事業所中23が参入する意向である。

質問　9月定例会でミニデイは「形を変えて残す」と答弁されたが、具体的にどう変わるのか。

健康福祉部長　現在のミニデイは、既存のデイサービスセンターを利用したリハビリ、レクリエーション、交流を中心とする新ミニデイサービスとして実施する。あわせて現在、公民館で実施しているサロン型のミニデイは、送迎なしで、市社協職員1名と地元ボランティアが自主的に運営する形で継続する。

質問　関係者から、送迎をなくすことで利用をやめる人が出ることや、事業運営を地域に委ねられても困る等の声を聞く。新ミニデイへの移行を1年延期されたい。

健康福祉部長　移行時期を変更する気はない。

ミニディサービスではつらつ元気

市長の家賃補助判決は平成29年のいつか

森谷　公昭

質問　市長の家賃補助裁判の判決はいつか。

総務部長　1月16日だ。

質問　公表するのか。

総務部長　まだ考えていない。

質問　資料館の建設予定地は3mの津波でつかる危険地域だ。4mのところに避難するのは安全か。

総務部長　できるだけ安全な所へと啓発している。

質問　ハコモノを増やさないというルールのなかで、低い場所に歴史神楽資料館を現状の2400㎡から3900㎡に増やすのは問題では。

地域政策部長　公共施設再配置に明記してある。

質問　人口減少を防ぐより、個人所得の増加を図る方が市民の満足に直結するのではないか。

産業経済部参事　そのとおりだ。北海道猿払村は小さな村だが全国3位、平均個人所得が780万円と注目されている。

質問　家庭保育の補助をすることにより余裕の出た保育士で夜間保育を実施することは可能か。

健康福祉部長　現在、民間では夜間保育を実施する見込みはない。

質問　保育園などで子どもが急病のとき、代わりに市が対応することは可能か。

健康福祉部長　親がかかりつけ医に連れて行くのが望ましい。

城山周辺の予想浸水域

高度衛生管理型荷捌所は54億の事業費か

田畑敬二

質問 高度衛生管理型荷捌所整備事業は、当初37億円から大幅に事業費が増加し、54億円という情報を聞くがそのとおりか。

産業経済部長 見積もりでは、概算金額で50数億円になると聞いており、現時点では事業費を54億円と見込んでいる。

質問 現在の市場のランニングコストを問う。

産業経済部長 現在の荷捌所は、JFしまねが管理しており、年間5千500万円程度である。

質問 浜田城周辺整備事業費は4億4千万円の計画で、うち3億4千万円が周辺の道路整備であるがそのとおりか。

地域政策部長 3億4千万円の内訳は、進入路整備、発掘調査、駐車場整備費、建物解体費、用地取得費が含まれている。

質問 （仮称）浜田歴史神楽資料館整備事業は、公共施設再配置計画等との関連で検討されたか聞く。

地域政策部長 城山公園を歴史・文化ゾーンとして整備し、歴史文化の継承を目指すために、最適であると判断した。各地の資料館の統廃合に沿ったもので、公共施設再配置実施計画の方針どおりである。

高度衛生管理型荷捌所建設予定地

上水道の老朽化が進んでいるのでは

岡野克俊

質問 浜田自治区内の上水道の総延長と老朽化の現状認識を問う。

上下水道部長 455キロで、40年を経過して更新の必要な水道管は旧市街地や昭和時代に造成された団地に多く、全体の約2割の96キロ存在する。

質問 全国平均の漏水率は約5％だが、浜田自治区の漏水率と対策を問う。

上下水道部長 約17％。年間200カ所の漏水調査と約3キロの老朽管更新をしているが、今年度策定する長期管路更新計画に基づき、取り組む。

質問 予算規模を問う。

上下水道部長 24年度に実施したアセットマネジメントでの老朽管更新費用の試算では10年間で約30億円と見込む。

質問 下水道整備計画案での、想定される接続率と個人負担額を問う。

上下水道部長 黒川・駅前・松原地区については全国平均の66・5％と算定し、個人負担分については下水道審議会の答申を踏まえて正式に決定する。

質問 下水道未整備地域での事業所や集合住宅への合併浄化槽設置の助成をする予定はあるか。

上下水道部長 個人住宅のみを助成対象とする。

その他の質問

○古い写真・映像や長浜人形の収集保存について

老朽化により破損した水道管

高齢ドライバー免許証返納後の支援策は

柳楽真智子

質問 高齢ドライバーの事故が多発しており、来年3月から改正道路交通法が施行され、75歳以上の高齢ドライバーが免許証の更新を行う際に、記憶力や判断力を測定する認知機能検査が強化される。免許証の返納者に対する優遇措置を問う。

総務部長 免許返納は事故減少に効果的であり、市としても推進していく。

質問 法改正も含め、免許返納者が増加すると同時に、交通弱者が増えると予測される。より一層の交通弱者対策が必要だと考えるが、今後の対策を問う。

地域政策部長 敬老乗車券制度の充実や、地域と連携したコミュニティワゴンの導入など、運転免許を持たない高齢者が、安心して生活できる交通体系の構築に取り組む。

質問 日常生活支援総合事業に移行されたことで、介護予防が衰退してはならないと考える。市としてどのように取り組むのか、市長の決意を問う。

市長 まずは現在の利用者へのサービス確保を重視し、県内他市より先駆けて進めることができているものと思っている。今後は、住民ボランティアの力なども活用した「地域の支え合いづくり」にも注力していく。

高齢ドライバーの事故が多発

中山間地域生き残り（パートⅡ）の取組み

飛野弘二

今回取り上げた質問は先に開催の「地域井戸端会」で市民から発言のあった意見を抽出したものである。

質問 除雪作業は災害の観点、福祉の観点、生活支援の観点から特に中山間地域の出動の基準の緩和が必要と思うが問う。

都市建設部長 基準は原則15㎝となっており緩和は難しいが、きめ細かいサービスの観点から測定方法など一部検討の余地がある。

高齢化対策除雪の課題解決のため地域住民が取組む「雲城除雪隊」の出発式

質問 高齢者の運転免許証返納が社会問題となっている。しかし交通空白地帯においては市街地に比べ免許保有率10％と高い。それは返納後の生活面や、福祉面の課題が入り乱れている複雑な様相があるためだ。何か即効性のある画期的な支援策が必要と考え期待するが所見を問う。

地域政策部長 自主返納者には敬老乗車券の無料交付を検討する。

質問 鳥獣被害対策事業で今年度もイノシシの捕獲が増えている。捕獲補助金の予算増額と、国の上乗せ事業の継続見通しを問う。

産業経済部長 増額を検討していく。国の事業も29年度以降も継続すると聞いている。

地域井戸端会の意見から

地域井戸端会を28年10月市内８カ所で開催しました。
各会場で出された代表的な意見を紹介します。

＝美又公民館＝
集客や景観対策、特産品開発が遅れている。泉質日本一を生かし、石畳と足湯ができ遊歩道も整備されるが、公衆トイレがない。姫ホタル・星空のアピール、おもてなしのレベルを上げる。

＝原井小学校＝
地域井戸端会への参加が少ない。市民の関心を高めるようにし町内にもっと声をかける。女性が参加しやすい時間帯に開催する。

＝和田公民館＝
公民館・まちづくり推進委員会・自治会の役割を明確にする、役員が兼務しており分かりにくい、公民館にまちづくりの仕事が入ってきた。地域リーダーを育成する。

＝二反田団地集会所＝
買い物弱者が急増しており、地域公共交通の見直し、バス路線の変更、買い物巡回車、自治会輸送などやってほしい。

＝杵東公民館＝
山林が荒れ行政が力を入れていない。子どもの代につなげるため、山林維持に対し補助してほしい。農家所得５００万円はどうして実現するのか、示すべきである。

＝上府三宅集会所＝
自主防災組織は上府町全体とし、活動は各町内会で行う。避難困難者や住民の情報を収集するようにし、災害別の避難場所を指定し住民に知らせる。

＝黒沢公民館＝
若い人が少なく自治会のイベントが減少、イベントがマンネリ化している。防災訓練、大平桜の公園化、各地区花火大会など自治会行事による地域活性化に取り組む。

＝長浜公民館＝
浜田商業高校との連携による長浜かるた大会の開催、地域の大人や子どもの連携、団地の人、若い人との交流を進める。

みなさまのご意見は、今後も議会活動や市政運営に反映させていきます。

詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→議会の取組→議会報告会

地域井戸端会に参加していただきありがとうございました。

日　時	開催会場	参加人数
10月24日(月)	美又公民館	30
	原井小学校	5
10月25日(火)	和田公民館	27
	二反田団地集会所	9
10月26日(水)	老人憩いの家(杵束)	7
	上府三宅集会所	9
10月27日(木)	黒沢公民館	22
	長浜公民館	10

黒沢公民館

上府三宅集会所

詳細については市議会HPをご覧ください。浜田市議会HP→議会の取組→議会報告会

議会からのお知らせ

3月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
					2月24日 開会　本会議 議案の提案説明	25
26	27 会派代表質問	28 個人一般質問	3月1日 個人一般質問	2 個人一般質問	3 個人一般質問	4
5	6 議案質疑	7 総務文教 委員会	8 福祉環境 委員会	9 産業建設 委員会	10 休会	11
12	13 予算決算 委員会	14 予算決算 委員会	15 予算決算 委員会	16 予算決算 委員会	17 休会	18
19	20	21 本会議　表決 閉会	22	23	24	25

平成29年度も開催します
報告会＆地域井戸端会（予定）

日時	場所
5月11日(木) 19:00～20:30	三隅公民館、波佐公民館
5月12日(金) 19:00～20:30	弥栄会館、旭支所
5月13日(土) 14:00～15:30 18:30～20:00	美川公民館、国府公民館 浜田公民館、周布公民館

みなさんのお越しをお待ちしています。

あとがき

啓蟄を過ぎまもなく立春を迎える時期となりました。

今回の市議会だよりは、昨年12月議会の報告と10月開催の地域井戸端会での、みなさん方の主な意見を掲載しています。一昨年、議会報告会の進化を目指して、鎌倉市議会のオープンカフェ方式を参考にし、運用のために講師を招き勉強会を開催しました。昨年は委員会全員で、松江で、どうしたら市民の方に読んでもらえるかというテーマで広報研修会に参加しました。

各地区で温度差はありますが、参加してよかったとの意見も増えており、一同励みになります。今後も読みやすい市議会だよりを目指して精進いたします。

（記　牛尾　昭）

【編集委員】
芦谷　英夫　委員長
串崎　利行　副委員長
足立　豪　委員
岡野　克俊　委員
柳楽真智子　委員
小川　稔宏　委員
野藤　薫　委員
飛野　弘二　委員
平石　誠　委員
牛尾　昭　委員

★この議会だよりは1部あたり42・56円でできています。

〔議長なんでもメール〕　議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会HP→議長なんでもメール